

福井県立大学 地域経済研究所

Research Institute for Regional Economics
Fukui Prefectural University



地域経済研究所

Research Institute for Regional Economics
Fukui Prefectural University



所長・教授
地域政策学部長
東京大学名誉教授

松原 宏
まつばら ひろし

経済地理学
理学博士

福井県立大学地域経済研究所は、2001年4月に誕生しました。比較的若い研究所といえますが、1989年9月に福井県が策定した「福井県立大学基本構想」ではすでに、「地域の産業の発展に貢献する学術研究を実践するため、学部や大学院の充実状況を考慮しながら附属研究所を設置する」ことが謳われています。その後、学部や大学院の充実を経て、1999年10月に地域経済研究所（仮称）体制検討会が発足し、2000年3月には検討結果がまとめられています。

そこでは、「本県の産業・地域社会を活性化させるために、固有の技術や文化に支えられた地域産業と地域経営について調査研究し、提言する専門機関の設置が早急に求められている」とされ、その必要性や機能に関して、(1) 産・官・学のインターフェイス機能、(2) 県内産業界と自治体のシンクタンク機能、(3) 専門情報の収集・保管・公開・発信、(4) 県内人材の育成・活用とネットワーク化の4点が挙げられています。

20年以上が経ち、地域産業や地域社会の状況が大きく変わるとともに、インターネットの発達で情報収集・発信の方法も刷新されましたが、設置当初の原点は変わらないように思います。新たに開設された地域政策学部も含め、「学部や大学院の充実状況」と研究所との関係をより強固にしていくことが重要だと考えています。多様で个性的な研究者の参画を得て、研究所としてのプロジェクトを戦略的に実施し、機関誌やフォーラム等を通じて成果を公表し、地域貢献の強化を図っていく所存です。

地域経済を掲げた国内で稀有の研究所として、地域に根差した調査研究を進めていくとともに、地域経済の理論や地域比較、地域政策等の研究に積極的に取り組み、日本の地域経済研究と地域政策をリードしていく役割を強化していきたいと考えております。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



教員紹介

産業立地や地域経済の振興、人口減少対策やウェルビーイングなど、地域課題解決に関わるシンクタンク機能といった地域経済研究所が担ってきた役割をより強化していきます。企業誘致戦略の策定や地域経済の活性化策、産業振興ビジョンなどの政策立案のお手伝いをします。

【専任教員】



教授

佐々井 司

ささい つかさ

人口学、社会保障論
工学修士

人口学、社会保障論を専門とし、統計分析、社会調査を通じて、地域人口と社会経済情勢との関連について研究しています。前職は、厚生労働省の試験研究機関である国立社会保障・人口問題研究所です。

【兼任教員】



教授

青木 和人

あおき かずと

空間情報学、地域政策、
オープンデータ
博士(文学)

地理情報システムやオープンデータの研究をしています。自治体の業務効率化やハザードマップ作成、図書館でのウィキペディアタウンなど、ITを用いた地域政策やシビックテック活動を行っています。



教授

朝倉 由希

あさくら ゆき

文化政策、
アートマネジメント
博士(学術)

文化芸術が地域社会に果たす役割や公共的な意義について研究しています。行政、市民、企業など、さまざまな主体が関わり合いながら文化を支え、育み、その価値を地域の魅力や活力につなげていく仕組みづくりを通じて、福井の持続的な発展に寄与したいと考えています。



教授

石丸 香苗

いしまる かなえ

森林生態学、
地域研究(ブラジル)
博士(農学)

人は自然の資源を利用して生きています。私の研究は、森林資源が人々の暮らしや社会をどのように支えているか、また森林と人間活動のインターアクションについて焦点を当て、福井県内外やブラジルで調査を行っています。



教授

フロレス漆間 アンドレア百合

ふろれす うるしま あんどれあ ゆり

都市地域論、環境デザイン論、
都市地域計画学
博士(人間環境学)

都市と地域の形成・変容を研究。日本と海外のフィールド調査を通じ、景観形成文化を含む政策・計画を探究。現在は環境倫理と持続可能性を統合し、地域の長期的形成を促進するイノベーションに関心があります。



教授

大木 由美子

おおき ゆみこ

経営理念・組織文化論
博士(経営学)

経営理念、組織文化、ガバナンス、人的資源といった非財務分野を研究しています。経済誌記者として全国の企業や経営者を取材してきました。数字には表れにくい企業の力が、業績や経営の持続性をどう支えるかを、研究しています。



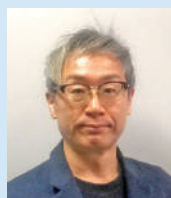
教授

北島 啓嗣

きたじま ひろつぐ

マーケティング、経営戦略論
博士(総合政策)

マーケティングを地方にどう役立てるかを研究しています。例えば、地方の企業が都会の企業に対抗し自立していくためにはどうしたらよいのかという課題です。またマーケティングの知見は自治体や地域に存するNPOその他にも適用可能です。



教授

杉山 友城

すぎやま ともき

地域経営、地域マネジメント、
中小企業経営
博士(経営学)

経営学の理論を基礎にした地域活性化や地域マネジメントを専門とし、地域固有の文化や産業・企業の価値に注目した、持続可能な地域づくりについて、産学官の現場経験を活かし、研究と実践を行っています。



教授

鈴木 洋太郎

すずき ようたろう

産業立地論
(国際産業立地研究)
博士(経済学)

企業の海外進出など経済のグローバル化について、産業立地論の視点から研究してきました。今後は、福井に立地する企業などを事例にして、地域産業のグローバル化や持続可能な発展について、重点的に研究していきたいと考えています。

教員紹介

ビッグデータを活用した空間情報の解析や地図化、地域の現場でのフィールドワークを活かした農業・農村振興、観光や地域交通の計画、まちづくり、地域イノベーションなど、より多面的な実態把握と政策形成に力を入れていきます。

[兼任教員]



教授

前田 陽次郎

まえだ ようじろう

経済地理学、農業経済学、
地域政策
博士(経済学)

酪農を中心とした農村地域の地域振興に関する研究を行ってきました。それ以外にも農産物輸出や農村の担い手問題、対馬をはじめとした国境地帯の地域振興やインバウンド観光など、国土周辺部の地域振興について広く研究しています。



教授

三橋 浩志

みつはし ひろし

イノベーション政策、
地域づくり、社会科教育学
博士(地域政策学)

経済地理学、都市地理学をベースに、地域イノベーションのメカニズムと政策を研究しています。人材育成や教育のあり方、特に社会科教育や探究学習の理論研究や教材開発、教育関係の各種学会活動も行っています。



教授

宮町 良広

みやまち よしひろ

経済地理学、地域発展論
修士(文学)、
大分大学名誉教授

経済の地域間格差はなぜ生じるのか、地域が発展するにはどうすればよいのかを経済地理学の視座から研究しています。近年は、新規成長産業としてのロケット製造や宇宙港に関心があります。



准教授

勝又 悠太朗

かつまた ゆうたろう

経済地理学、地域産業論
博士(文学)

地場産業をめぐる新たな取り組みや現代的な存立形態の在り方について地理学的な視点から研究しています。また、インドと北海道をフィールドとした研究も進めるなど、幅広いテーマに関心をもっています。



准教授

加藤 裕美

かとう ゆみ

文化人類学、地域研究
博士(地域研究)

地域社会や集団の中で継承される慣習や考え、行動、人間関係などについて研究をおこなっています。参与観察やインタビューといったフィールドワークの手法を通して、主に東南アジアと福井の地域社会を対象に研究をしています。



准教授

高野 翔

たかの しょう

まちづくり、ウェルビーイング
Master of Arts

ウェルビーイングを深めるまちづくりの理論・実践・政策の研究をしています。特に、“居場所と舞台”という二つの場所・場づくりに注目しています。居住地域に居場所や舞台があることの人々の主観的ウェルビーイングとの関係を研究し、福井市を中心に居場所づくりや舞台づくりに寄与するまちづくり活動を行っています。



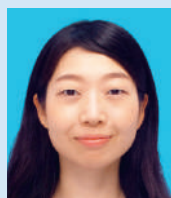
准教授

當麻 雅章

とうま まさあき

空間経済学
博士(経済学)

地域間の人口移動や地域の労働市場に関して実証研究を行ってきました。今後は、地域経済の活性化に向けた地域労働市場、産業集積、インフラ整備等のあり方について研究を進めていきます。政府統計だけでなく、新たなデータの使い方についても、研究を進めていきます。



准教授

宮崎 友里

みやざき ゆり

公共政策論、行政学、観光学
博士(政治学)

地域社会における観光の役割を研究しています。これまで、地域アイデンティティと地方自治体の観光政策との関係に着目してきました。地域の新たな価値が(再)発見される地方政治過程に関心があります。



准教授

森嶋 俊行

もりしま としゆき

経済地理学、観光地理学
博士(学術)

文化遺産、なかでも工場や鉱山の跡地といった産業遺産の保存活用をめぐる企業と地域の関係等に関心を持ち、こうした遺産を資源とする産業観光のあり方を研究対象としています。福井県の特徴ある様々な産業の観光化について調査を進めています。

地域経済研究所の活動紹介

■ 地域経済研究フォーラム

2025年度は、以下のように、第1回と第5回、第6回は永平寺キャンパス内で、第2回は織協ビル、第3回はアオッサ、第4回はハピリンホールで、いずれも対面で開催しました。

第1回：産業立地政策の新展開と自治体産業政策

第2回：地域政策学部で地域イノベーションを学ぶとは

第3回：「探究学習」から地域政策学部の学びに

第4回：北陸新幹線による福井の変化と今後の政策課題を語る

第5回：福井県の多文化共生：越前市の事例から

第6回：ウェルビーイングをデザインする
ーテクノロジー・組織・教育のフロンティア



第1回フォーラム



第4回フォーラム

■ グローバル地域研究セミナー

2024年10月に韓国大邱政策研究院と連携協定を大邱で締結しましたが、2025年8月に永平寺キャンパスにて、締結記念のセミナーを以下の内容にて開催しました。

韓国の国土政策と地方高速鉄道—日本との比較—（2025年8月20日、企業交流室）

<第1講>「韓国における国土政策のこれまでとこれから」

講師：パク・ヤンホ（大邱政策研究院長）

<第2講>「韓国における地方高速鉄道による地方経済の活性化」

講師：キム・スソン（大邱政策研究院ダルビット鉄道関連プロジェクト担当者）

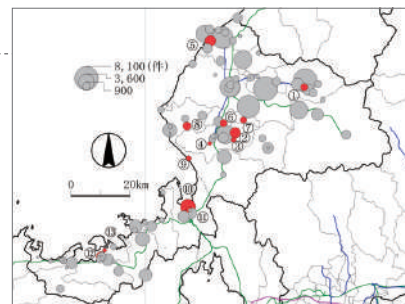
討論 松原 宏、チャ・サンリョン（長崎県立大学地域創造学部教授）



グローバル地域研究セミナー

■ 研究プロジェクトの展開

地域社会の課題をテーマに取り上げ、複数の教員が共同で調査研究に取り組んでいます。2023年度～25年度には、「北陸新幹線の福井延伸に伴う地域経済・都市構造の変化と政策的対応」を、2024年度～25年度には、「福井県における地域計画の現状と課題」をテーマとし、26年3月にはそれぞれの報告書を刊行しました。



新幹線の報告書に掲載された図
（赤字が産業観光施設、FTASによる）

■「ふくい地域経済研究」の発刊 [年2回、9月および3月]

広く経済・社会・産業分野で、福井県についての研究、もしくは福井県に有益な研究を促進するため、刊行しています。投稿原稿は、研究論文、短報、フィールドノートに分けられ、また、「研究所短報」の「地域経済の概観」では、最新の福井県経済の状況をグラフをもとに解説します。ホームページ上でも最新版からバックナンバーまで公開しています。



ふくい地域経済研究

■「eメールマガジン」の配信

所属教員によるコラム、フォーラムやイベント情報の案内を毎月配信しています。ホームページから申込み受付中です。

■ 受託研究・共同研究の実施

受託研究として、福井県からの県民アンケートの設計と分析、トランプ関税の県内企業への影響についてのアンケート調査を実施しました。また、まちづくり福井(株)から、街なかの経済活動の可視化プロジェクトを受託し、建物・事業所データベースを構築しました。JST(科学技術振興機構)の北陸の大学発スタートアップ支援プログラムに地域経済研究所が関わっています。さらには、ふくい産業支援センターと共催で、北陸新幹線沿線の企業間交流に関わり、2025年度は新潟県上越市を訪問しました。受託研究、共同研究のお申し込みやご相談は、教員もしくは事務局までお寄せください。



福井市中心部の3Dマップ

■ 各種委員会・審議会・講演会・セミナーへの委員・講師派遣

産業立地、地域経済、地域政策、観光、まちづくりなど、さまざまな内容の委員会、講演会、セミナー等に、教員を委員や講師等として派遣します。また、RESAS(地域経済分析システム)やGIS(地理情報システム)、地域データの分析などの講習会についても、ご希望があれば事務局までご連絡ください。



地域経済研究所事務局

ACCESS



各種セミナー・イベントのご案内、報告書・データベースのダウンロード、メルマガのご登録等はホームページから

→ <http://www.fpu.ac.jp/rire/>

地域経済研究所 福井

で

検索

福井県立大学地域経済研究所

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

TEL.0776-61-6000 (地域経済研究所：内線 6104,6105)

E-mail: keiken@g.fpu.ac.jp